

2018年度 第2回代表者会議

2018年9月9日

一般社団法人大阪府サッカー協会第4種委員会

Japan Football Association



事業部からのおしらせ

- ① 小学生大会
- ② ちびりん
- ③ MUFG
- ④ デポカップ
- ⑤ 全日中央大会

一般社団法人大阪府サッカー協会第4種委員会

事業部 部長 森 龍彦



小学生大会

- ① 中央枠 48チーム(4種L枠8チーム)
- ② 1/26(土) 1/27(日) 2/2(土) 2/3(日)

ちびりん中央大会

- ① 2/9(土) 2/11(月)
- ② 16枠のトーナメント制
- ③ 5年生対象

MUFGカップ

- ① 8人制で実施
- ② 2/23(土) 2/24(日)
- ③ 地区予選参加費は地区で集める

デポカッブ[®]

- ① 中央枠 32チーム
(4種L 上位チームの32チーム)
- ② 2/16(土) 2/17(日)
- ③ 15分ハーフ1人制審判

全日中央大会

- ① 中央枠 32チーム
- ② 11/23(金) 11/24(土) 11/25(日)
- ③ 32→4までトーナメント制
上位4チームによるリーグ戦

総務部からのおしらせ

- ① 下半期大会エントリーについて
- ② 全日サッカーの集いについて

一般社団法人大阪府サッカー協会第4種委員会

総務部 部長 口元 浩二



2018年度大会エントリーについて

①大会参加費

- ・大阪小学生大会(U-11) 7,000円×エントリーチーム数
- ・JA全農杯チビリンピック(U-11) 7,000円×エントリーチーム数
- ・MUFGカップ(U-12) 各地区にて決定する。※セカンドチームは認めない。

②エントリー期間

- ・エントリー期間 平成30年9月8日(土)～9月18日(火)
継続チーム：振り込み+エントリーサイト入力=完了
※MUFGカップにつきましては、エントリーサイトのみ
- 新規チーム：振り込み+エントリーメール=完了
※エントリーメール送信先は大会エントリー方法を参照ください。

③大会参加費振込先

りそな銀行 高槻支店 (普通)0206606 池上雅純(イケガミ マサズミ)

※振込名は地区番号とチーム名略称(7文字以内)で行う。

(例 豊能地区の大阪サッカークラブの場合は 1オオサカエスシ
豊能1 三島2 大阪市3 北河内4 中河内5 南河内6 泉北7 泉南8

※上記口座への振込を行う際の振込手数料はチーム負担

全日サッカーの集い

① 日程: 2018年10月20日(土)

会場: パナソニックスタジアム吹田

対戦カード: ガンバ大阪vs横浜F・マリノス(キックオフ15:00予定)

② 観戦チケット(大人2枚、選手16枚)

集い当日【(10月20日(土))】に配布します。

※各チーム1名は必ず受付を済ませてください。

③ 各チームプラカード持参(1st、2nd、3rdの各チームに必要)

技術部からのおしらせ

一般社団法人大阪府サッカー協会第4種委員会

技術部 部長 棚谷 孝行





JFAフットボールユーチャープログラム トレセン研修会U-12

JFAトレセン大阪U-12報告

報告者 中村 晋祐





FFP（フットボールフューチャープログラムトレセン研修会U-12

日程 2018年8月2日（木）～5日（日）

会場 ◆中日本
宿泊 御殿場高原時之栖
時之栖スポーツセンター（裾野グランド）

対象 北信越(5FA)、東海（4FA）、関西（6FA）、
九州(5FA) 長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄)

主催 公益財団法人日本サッカー協会

協賛 株式会社ナイキジャパン
トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社 明治
株式会社モルテン





目的

本協会は、47都道府県で活動しているU-12トレセン選手・指導者を対象に3地域にて研修会を開催する。本研修会は試合、トレーニングのみならず、オフザピッチのプログラムを通じて、この年代のフットボールのグランドデザインについて総合的に考える場とする。



プログラム

① 対抗戦

8人制 15分3ピリオド

1次ラウンド 3試合 2次ラウンド2試合 計5試合

※1次リーグのみPK戦を実施 (3人制)

② スポンサーセミナー

③ 選手・指導者レクチャー



参加選手

FP

名前	所属チーム名
古河 幹太	ガンバ大阪 j r
和田 陸	摂津FC
川口 遼己	大阪市ジュネッスFC
増井 那月	大阪市ジュネッスFC
阿部 陽正	セレッソ大阪U-12
坂上 宗太郎	セレッソ大阪U-12
中山 聰人	セレッソ大阪U-12

名前	所属チーム名
松本 大海	セレッソ大阪U-12
村上 樹	セレッソ大阪U-12
中山 晶太	FCレイ・ラモス ヴェジット
新谷 杏士	交野FC
小谷 楓河	国分FC
井村 知也	FOOTBALL CLUB S.S.CREATE
北條 隼人	FOOTBALL CLUB S.S.CREATE

GK

道菅 陽斗	フィオーレ大阪吹田FC	多田 吾郎	AVANTI茨木FC
-------	-------------	-------	------------



帯同スタッフ

役職	名前	所属チーム名
コーチ	中村 晋祐	KONKO FC
コーチ	鈴間 晴崇	セレッソ大阪 サッカースクール
GKコーチ	飛石 孝行	セレッソ大阪 U-15



スケジュール

1日目 14:00～ 開会式

16:30～ vs 富山

2日目 8:30～ vs 長崎

選手レクチャー

指導者講習会

16:30～ vs 三重

3日目 10:00～ トレーニング

スポンサーセミナー

16:30～ vs 静岡県

4日目 9:40～ vs 沖縄県

開会式



スポンサーセミナー

スポンサーであるナイキジャパンによるセミナーが開催されました。

子どもならでは率直な意見も数多くありとても盛り上がる内容のセミナーとなっていました。



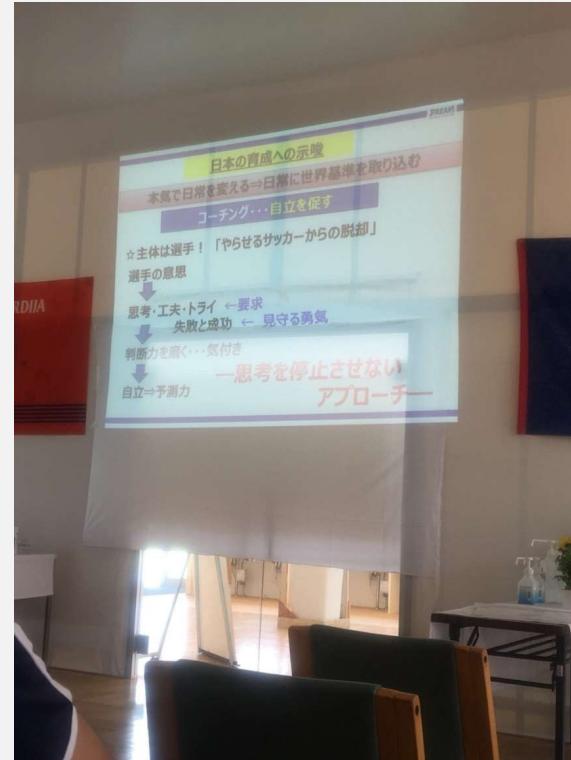
指導者対象 講習会

・日本の育成への示唆

本気で日常を変える→日常に世界基準を取り込む
タフなゲームが大前提の上で…
状況（点差・エリア・時間帯など）によって柔軟な
戦い方のできる「個」の育成

・日本人の目指す選手像

テクニカルは当たり前。（その上で良い選手）
闘える、信頼される、自己解決能力、
チャレンジ精神、向上心



対抗戦（1次ラウンド）

▪ 1試合目 VS 富山県FA

○ 5 – 1

▪ 2試合目 VS 長崎県FA

○ 6 – 0

▪ 3試合目 VS 三重県FA

○ 4 – 0



対抗戦（2次ラウンド）

- 1試合目 VS 静岡県FA
○ 1 - 1
(PK 3 - 2)

- 2試合目 VS 沖縄県FA
○ 3 - 1



2018年度の変更点

- 3地域開催

東日本 花巻市スポーツキャンプ村

中日本 時之栖スポーツセンター

西日本 新居浜市営サッカー場

- 5日間開催 → 4日間開催

昨年度まで実施されていたクワトロゲームが
予定から省かれました。

- 12分×3ピリオド → 15分×3ピリオド

試合開始時間への配慮（暑さ対策）



オフザピッチ

食育

期間中、日が経つにつれ食欲が落ちている選手がいた。そういった選手はゲームでもパワーが落ちていました。栄養バランスと量を摂ることの重要性をより理解しなければならないと感じた。



休憩中

荷物は整理整頓され、室内も比較的清潔に維持されていました。ミーティングや1分間スピーチにも取り組み、頭を働かせる時と体を休ませる時とメリハリある休憩時間を過ごしました。



成果

オフ ザ ピッチ

- 他府県FAの選手と試合を通じて打ち解け、コミュニケーションがとれていた。
- 室内でのマナー、整理整頓、その他状況に応じて落ち着き行動できていたように感じた。

オン ザ ピッチ

- 例年に比べサッカーへの理解が深く、意図と狙いのあるプレーが多く感じた。
- 状況に応じて技術を発揮する選手が増えた。（選択肢をもちながらプレー）
- GKが攻撃の起点となり、成功するシーンが増えた。
- 全員が積極的にボールを奪う意識が強かった。
- 1stDFに応じて、周りの選手が運動し、ボールを奪うシーンが多くみられた。



課題

★個の質の向上

1. テクニック

※高いプレッシャーの中でより正確にテクニックを発揮する！

- 観ることの習慣化（ゴール、味方、相手、スペース）
- 動きながらの止める・蹴る・運ぶテクニックの向上
- 状況判断（ボールを失わない、ゴールへ向かう、ゴールを奪う意識）

2. サッカー理解

- 攻守ともにグループでの効果的な関わり
- 連続したプレー（次の狙い、予測）



閉会式

★ゴールデングローブ&ブーツ

道菅 陽斗 (フィオーレ大阪吹田FC)



★MIT (Most Impressive Team)

JFAトレセン大阪 (2年連続)



最後に

4日間のFFPを通じて選手・指導者ともに多くの刺激を受けることができました。

特にゲームでは、対大阪府ということでどの対戦FAもモチベーションが高く感じられましたが、JFAトレセン大阪の選手は臆することなく自信をもって試合に臨んでいました。

このJFAトレセン大阪U-12の力は指導者皆様の指導の賜物であり、力の結晶だと考えております。JFAトレセン大阪では慢心することなく、今回の経験を今後に繋げ、選手育成に役立てるように関わっていきたいと思います。

最後になりましたが、このような素晴らしい経験をさせて頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。

JFAトレセン大阪 スタッフ一同

ありがとうございました！



U12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018

JFAトレセン大阪U-12報告

報告者 桜谷孝行

U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018

日程 2018年8月23日(木)～26日(日)

会場 OFA万博フット-ボールセンター
万博記念競技場

大会方式 11人制 ・ フルピッチ
予選リーグ 20分ハーフ
決勝トーナメント 25分ハーフ

参加資格 U12 ※2006年1月1日以降生まれ

参加

- | | |
|--------|---|
| 海外クラブ | FCバルセロナ、クラブ・ティフアナ
アーセナルFC、中国サッカー協会U-12選抜
富力サッカー学校U-12選抜 |
| Jクラブ | 大宮アルディージャ、サンフレッチェ広島、ヴィッセル神戸
ガンバ大阪、清水エスパルス、北海道コンサドーレ札幌
名古屋グランパスU-12 浦和レッドダイヤモンズ |
| タウンクラブ | FC大泉学園 大阪市ジュネッスFC FCパーシモン、FC Ants
栃木FCジュニア、ヴェルディサッカースクール岩手U12 |
| 選抜チーム | 湘南ベルマーレアカデミー選抜 エコノメソッドスクール選抜
ワールドチャレンジ街クラブ選抜 SOLTILO WORLD SELECT
JFAトレセン大阪U-12 |

選手

FP

川井 豊翔	DREAM
岡野 瑛心	AVANTI茨木FC
和田 陸	摂津FC
阿部 陽正	セレッソ大阪U-12
坂上 宗太郎	セレッソ大阪U-12
中山 聰人	セレッソ大阪U-12
松本 大海	セレッソ大阪U-12
村上 樹	セレッソ大阪U-12

櫻井 大輝	門真北風SC
新谷 杏士	交野FC
宮地 陸翔	ガンバ門真ジュニア
山下 順斗	FC TIAMO 交野
山本 圭晋	宇山SC
小谷 楓河	国分FC
井村 知也	SSクリエイト
北條 隼人	SSクリエイト

GK

多田 吾郎	AVANTI茨木FC
-------	------------

道管 陽斗	フィオーレ大阪吹田FC
-------	-------------

スタッフ

役職	名前	所属チーム名
監督	鈴間 晴崇	セレッソ大阪
コーチ	中村 晋佑	KONKO FC
コーチ	宇高 寛朗	東淀川FC



スケジュール

1日目 予選リーグ① 14:05～ VS 湘南ベルマーレアカデミー選抜

2日目 予選リーグ② 12:15～ VS 栃木SCジュニア

予選リーグ③ 18:30～ VS 富力サッカー学校U12選抜(中国)

※台風の影響により時間変更あり

3日目 決勝トーナメント準々決勝

11:55～ VS 中国サッカー協会U-12選抜

4日目 準決勝 11:20～ VS アーセナルFC(イングランド)

3位決定戦 14:10～ VS クラブ・ティフアナ(メキシコ)

予選リーグ

- 1試合目 VS ベルマーレアカデミー選抜

2-2 得点者 小谷、山本

- 2試合目 VS 栃木SCジュニア

3-0 得点者 北條、宮地、新谷

- 3試合目 VS 富力サッカー学校U-12選抜

4-1 得点者 北條、山下、中山、宮地



決勝トーナメント

- 準々決勝 VS 中国サッカー協会U-12 選抜
3-1 得点者 北條、井村、山下
- 準決勝 VS アーセナルFC
1-1 PK1-3 得点者 坂上
- 3位決定戦 VS クラブ・ティフアナ
1-2 得点者 和田





成果

攻撃

- ・2~3人の少人数での局面では相手の逆を取るプレーなどが見られ海外の選手でも十分に戦えたこと
- ・シュートの意識が徐々に改善され、日を追うごとに積極性が出たこと。

守備

- ・前線からのプレッシャーに連動しながら2人目、3人目でボールを奪う場面が徐々に増えたこと
- ・味方ゴール前での危ない場面などで集中力高く粘り強い守備ができた。

課題

攻撃

パスの質

特にパススピード(パスの距離が長くなった分より足りなかった)

- ・意図的にビルドアップ・ポゼッションできなかった。
(相手のプレッシャー、スペースの認識が低かったため)
- ・ピッチの幅を有效地に使えない。
- ・プレースピードが遅い(認知⇒決断⇒実行) サッカー理解・観る

課題

守備

- 状況に応じた判断

※相手が良い状況なのに飛び込んでしまう。カバーの距離が遠い。

- クロスの対応

※ボールウォッチャーになってしまいます。(相手を外してしまう)

総括

11人制、フルピッチ、大人用ゴール、25分ハーフなど選手達にとって全く経験のない環境で初めは戸惑いながらプレーしている様子であったが試合を重ねる度に適応して良くなっていった。

また勝つことでチームにも一体感は出て高いモチベーションで取り組めた。海外の選手と対戦し身体能力、リーチの長さなどを体感できたことは世界を感じる良い経験になった。

選手ひとりひとりがサッカーを理解してプレーに関わること、そしてプレーを正確に実行できテクニックを身に付けることがこの年代が必要だと感じた。またそれを決断して実行するスピードも養っていくなければいけない。

明らかにバルセロナの選手は認知⇒決断⇒実行が速かった。大阪開催ということもあり最終日はたくさんの応援の中素晴らしい環境でプレーできしたこと選手にとっては貴重な経験であった。是非、来年度も参加できればと思います。

最後に

初めての大会、初めての11人制でしたが選手・指導者共に4日間でたくさんの刺激を受けたと思います。この経験を今後に繋げることが大切。このような素晴らしい機会を与えて頂いた関係者の皆さん、サポート頂いた皆さまありがとうございました。



準々決勝　中国サッカー協会U-12選抜



準決勝 アーセナルFC

